

1年リベラルアーツ ミニ課題研究 テーマA「ネイチャー・チャレンジ」  
ワークシート ～実行可能で効果的な仮説を立てる～

テーマ 海洋ゴミ環境問題

1年 組 番 氏名

【今後の予定】

9月24日（火） グループごと話し合い・発表準備  
10月8日（火） グループごと話し合い・発表準備  
10月15日（火） 発表

1 課題設定

(1)ブレインストーミング ～問題と原因を洗い出そう～

1年リベラルアーツ ミニ課題研究 テーマA「ネイチャー・チャレンジ」  
ワークシート ～実行可能で効果的な仮説を立てる～

テーマ 海洋ゴミ環境問題

2 仮説を立案に向けて

(1) 海洋ゴミの問題に、どの「R」でアプローチするか決めよう。

収

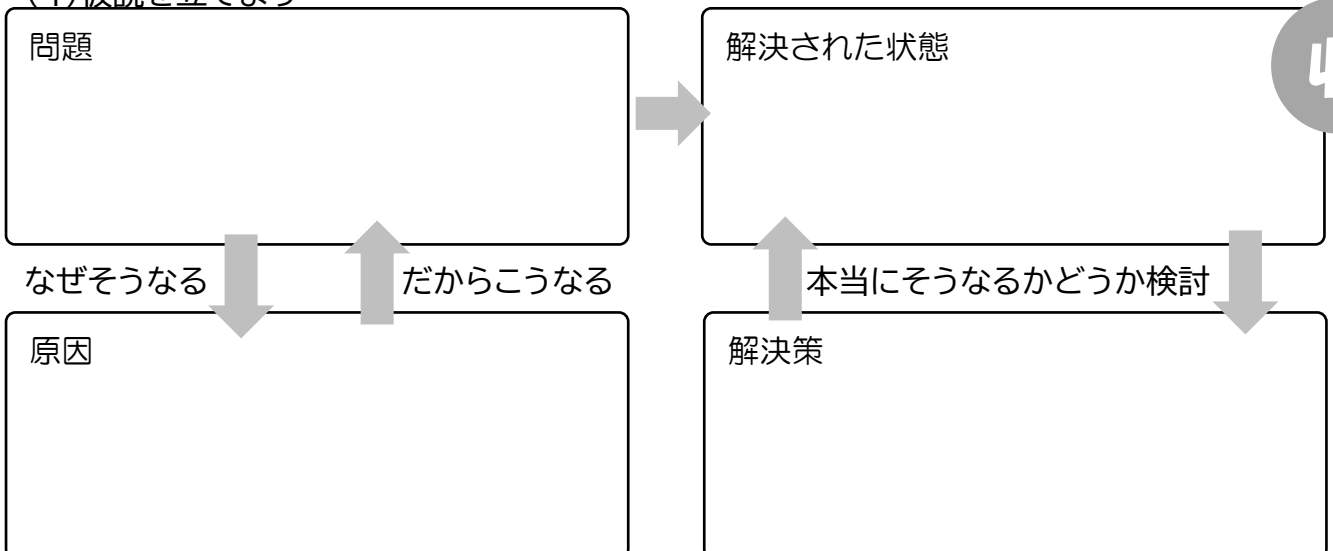
(2) 上記の「R」でどの問題にアプローチするか、またその問題は何が原因か具体的に考えよう

散

(3) どのような解決方法があるか、具体的に考えよう

散

(4) 仮説を立てよう



収

1年リベラルアーツ ミニ課題研究 テーマA「ネイチャー・チャレンジ」  
ワークシート ～実行可能で効果的な仮説を立てる～

テーマ 海洋ゴミ環境問題

【9/24(火)】

◆ グループ決め(近くの人)

5人 × 10グループ = 50人

4人 × 3グループ = 12人

(1組5人×6グループ)

(2組5人×4グループ・4人×3グループ)

◆ 班長決め

◆ ワークシート

1(1)ブレインストーミング(10分)

2(1)(2)(3)仮設立案に向けて(20分)

(4)仮説を立てる(10分)

4～5人揃ったら、班長を決める。

班長は班員を記入したこの紙を持って川村まで報告にくる。

班名(1班～13班)は、早く来た班から決めます。

【10/15(火)】

◆ 発表資料の作成

ワークシートをもとに発表資料を作成

発表時にわかりやすく理解してもらうための簡単な絵やイラストも用意する。

(Google スライドも活用してよい)→ 川村をスライドデータ共有にしておく

組・番

例、3組1番 ⇒ 301

( )班

班長 ( ) 名前( )

班員 ( ) 名前( )

( ) 名前( )

( ) 名前( )

( ) 名前( )

R	ゴミ削減の視点	人やDX活用でのアクション
<b>Refuse</b> リフューズ	ごみになるものを使わない、断ること	スーパーの袋から、買い物袋の持参へ
<b>Reduce</b> リデュース	物を大切に使い、ごみを発生させない ごみの量そのものをできるだけ減らすこと	詰め替え用洗剤やMyはしの使用 丈夫な服を買って長く着回す
<b>Repair</b> リペア	必要な修理をして、再使用し、 長く使い続けること	修理に必要なマニュアルや部品の整備
<b>Reuse</b> リユース	使える物は、繰り返し使うこと	中古品の購入 何回も使えるものを使う(My箸など)
<b>Recycle</b> リサイクル	不要となったものを回収・再生・再資源化 し再び利用すること	ごみを再生して作られた製品を利用する
<b>Return</b> リターン	生産・購入先に戻せるものを戻すこと	
<b>Recover</b> リカバー	もともとあった形にもどすこと どうしても利用できないゴミの回収や処分	ゴミの回収作業への参加
<b>Reform</b> リフォーム	古くなったものを、形を変えて再び利用 すること	ペットボトルキャップをプラスチック素材に
<b>Rental</b> レンタル	一時的に使うものは借りて、物を増やさな いこと	必要なくなったものを、必要な人に譲る
<b>Rebuy</b> リバイ	リサイクルされたものを購入すること	ものを循環させるために、価格が高くても再生製品 を買う、使うこと
<b>Regeneration</b> リジェネレーション	再生品の使用を心がけること	再生紙の利用
<b>Rule</b> ルール	ごみの処分方法など決められたルールを守 ること	ごみの分別など
<b>Responsibility</b> リスボンシビリティ	不要なものの処分に最後まで責任を持つ	電気製品・粗大ゴミの回収など